

公益社団法人 東京都臨床検査技師会 平成 25 年度 第 3 回理事会議事録

日 時：平成 25 年 6 月 19 日（水）19 時 00 分～21 時 30 分

場 所：都臨技事務所

出席者：下田，千葉，小松，宮崎，高城，中西，原田，井上，鈴木，工藤，土橋，蝶名林，杉岡，三橋，佐藤
松村，小山，東海林監事，立花監事，遠藤監事，沖田役員選出委員

1. 理事行動報告

| | | |
|-------------|------------|----------------------|
| 5 月 15 日（金） | 選挙管理委員会 | 鈴木 |
| 5 月 21 日（火） | 学術部会 | 高城，中西，蝶名林，大野 |
| 5 月 23 日（木） | 首都圏学会企画委員会 | 下田，宮崎，高城，鈴木，原田，中西，島田 |
| 5 月 24 日（金） | 編集委員会 | 高城，蝶名林 |
| 6 月 4 日（木） | 会計部 | 鈴木，土橋 |
| 6 月 11 日（火） | 役員選出委員会 | 工藤 |
| 6 月 12 日（水） | STI 委員会 | 佐藤 |
| 6 月 13 日（木） | 渉外部会 | 原田，多田，佐藤，千葉 |
| 6 月 14 日（金） | データ標準化 | 中西 |

2. 報告事項

(1) 平成 25 年度第 2 回理事会および第 3 回監理会議 議事録の内容確認

(2) 各部局報告

○組織部

【報告事項】

<部長報告>

・都臨技フォーラム参加者報告

総参加人数 61 名（会員 53 名，非会員 8 名）

<各支部（地区）報告>

・南部地区

品川健康まつり

日時：5 月 25 日（土） 11:00～15:00

場所：戸越公園

内容：尿定性検査，血管年齢測定

参加者数：血管年齢測定（136 人），尿定性（21 人）

・北部地区

第 1 回北支部ベーシックレクチャー

日時：平成 25 年 7 月 20 日（土） 15:00～17:30

場所：帝京大学板橋キャンパス 204 講義室

テーマ：『知識の再確認！嫌気性菌 ～基本からトピックスまで～』

講演 1：「嫌気性菌感染症 基礎から実践まで」

講師：下口和雄 技師（日本大学医学部附属板橋病院 臨床検査部）

講演 2：「嫌気性菌感染症の検査法 ―改定ガイドラインの要点―」

講師：国広誠子 技師（山口県立総合医療センター 中央検査部 前技師長）

・東部，西部，中部，多摩地区

特記事項なし

<フォーラム委員会>

特記事項なし

【検討および確認事項】

- ・4支部合同親睦会開催について
日時：8月31日(土曜) 午後6時30分～
内容：納涼船(竹芝栈橋出港, 東京湾クルージング)

○地域保健共催事業部(渉外部)

【報告事項】

- ・看護フェスタ2013
日時：平成25年5月12日(日) 12:00～16:00
場所：新宿駅西口広場イベントコーナー
来場者：血糖測定 459名 骨密度測定 605名 検査相談 103名 合計 1167名
参加者：理事・幹事 32名

【検討事項】

1) 学生対象講演会

日時：平成25年6月22日(土) 14:00～16:30

場所：社会保険中央病院 4階講堂

テーマ：「臨地実習の意義と取り組み方」

講師：戸部 由以 技師(帝京大学卒, 東京都済生会向島病院)

鈴木 里依子 技師(防衛医科大学病院, 東京電子専門学校卒)

浅野 直人 技師(東京女子医科大学東医療センター)

準備状況：①講師依頼状及び講師派遣依頼状 6月7日発送済み

②配布資料：ラボ企画から(有)遠藤印刷へ6月10日発注済み

③本日現在の申し込み状況 138名

(東洋公衆衛生学院・杏林大学・帝京大学・帝京短期大学・自衛隊)

募集人員に余裕がある為、申し込みをされていない学校に再度連絡を入れる。

④懇親会については、土曜日の午後でもあり参加があまり見込まれない為開催しないこととする。

⑤お茶200本を発注する。(社会保険中央病院にて保管)

連絡事項等：①当日参加する幹事は、13:00に社会保険中央病院へ集合とする。

②当日学生会員申し込みが見込まれるため、そのブースを作成し、会員証及びお金の手配をする。

平成25年度第2回学生対象講演会

アンケート回収が無い為、当日各校の先生に意見を求める事とした。

2) 公開講演会について

学校での文化祭における公開講演会を開催としたが、時期的なものを鑑みると難しいと思われるため、

今年度は来年への準備とし、計画立案をすることと定める。

首都圏学会において、乳がん視触診モデル及び子宮頸がんワクチンについて展示を実施できるか

学会事務局に確認をする。

3) リーフレット作成について

日臨技においてリーフレット作成をしている様なので、その内容を参考にして次回の会議にて話し合う事とした。

4) エコバック作成について

今年度は緑色で、学会分も含めて4000枚作成してはどうかと意見が上がった。福良幹事にサンプル依頼をお願いします。

5) 地域保健共催事業で着用する都臨技独自のジャンパー作成について

ネームフォルダーおよびベストなどでも良いのではないかと意見が上がった。また、名札についても写真付きのネームプレートを作成してはどうかとの意見も上がった。ビブスだと300～500円/枚 1デザイン7000円くらいで作成できるため、この方向も含めて検討することとした(担当：佐藤理事, 浅野幹事, 白石幹事)。

○学術部

【報告事項】

1) 前回議事録内容確認

これに関連して学生会員の受付について質問が出た。

人数把握のため、手書きにて受付をする旨伝えられた。(生涯教育には加算されないため)

2) 理事会報告

・臨床化学研究班の幹事交代が承認された。(東京医科大学八王子医療センター 浅海隆司氏)

・日本未病システム学会学術総会のシンポジウムを都臨技が共催する。

学術からシンポジストを推薦してほしいとのこと。(30分のプレゼンと30分の総合討論の予定)

健診系・超音波関係・糖尿病関係などの意見が挙がったが、特定の方の推薦に至らなかったため、該当する方がいる場合は高城学術部長にメールにて連絡してもらうこととなった。

・年度途中で他県技師会から転入する会員は従来通り都臨技会員とする旨の報告があった。

日臨技のシステム上で県の所属変更ができてしまうシステムになっていること。

転入した会員にはなるべく早く会員証を送るようにすること。

他県のみ会員は非会員として扱うこと。についても説明があった。

これに関連して、受付を担当する人はばらばらなので、これらの事項を正確に伝達するのが難しい。

文章化してほしいとの要望が挙がった。高城学術部長が対応することとなった。

・各支部の支部長が決定したとの報告があった。

東支部 三橋 太 理事(日本医大) 西支部 小山 正晴 理事(東京医大八王子)

南支部 杉岡 陽介 理事(テクノラボ) 北支部 多田 光男 理事(共栄火災海上保険)

・都臨技HPトップへの掲載依頼は担当理事を経由して連絡してほしいと報告があった。

・研究班運営規定案は理事会承認されたとの報告があった。

3) 編集委員会報告

5月号は5/24頃発送予定。論文投稿規定を修正し、申込み用紙を新規に作成したとの報告があった。

現在微生物の投稿論文について査読中。

4) 精度管理委員会報告

現在H24都臨技サーベイの最終報告書を作成中で、CDとして配布を予定している。

本年度は10/22に試料を発送予定。凝固検査をトライアルとして実施する予定である。との報告があった。

5) 生涯教育委員会報告

期間中の研修会は6件。自己申告は12名。

これに関連して、高城学術部長より以下の話があった。

都臨技で生涯教育の修了証をもらっている人は数%。これは全国平均よりも低い。公益化したことも鑑み修了証の取得率をあげたい。会員が参加しやすい研修会を開催してほしい。

6) 学会関係

①第2回日臨技首都圏支部学会

・演題の応募が少ないため募集期間を延長(6月末日まで)

演題登録時、会員番号の入力を忘れないようにしていただきたい。

・学会準備委員会は5/23開催予定。

・シンポジウムのタイトルは以下の通り。

〔生理〕循環・呼吸・神経・画像検査のピットフォール

～気をつけよう！誰でもはまる落とし穴 日頃の悩みを解決しよう～

〔血液〕現場の技師に聞く 一血液形態学アップデート

〔臨床化学〕血清保存状況及び保存検体測定前の操作が測定値に与える影響について

〔病理・細胞診〕甲状腺疾患の臨床と病理(臨床の先生の都合により土曜午後(夕方がベスト))

〔微生物〕微生物検査、知っておいて良かった！一臨床への貢献度が増す症例および運用の報告一

演者の氏名・所属を今月中に高城学術部長まで連絡してほしい。

②第10回都臨技学会

学会長は日本大学板橋病院の荒木氏に決定。秋頃の開催を検討しているが、開催時期・開催場所は未定。

7) 精度保証研修会

9月5日(化学・免疫)・12日(血液・一般)で開催予定。開催場所は堀場製作所で18:30~20:30

内容は日当直検査に関わる内容で、基本的に昨年度と同様の内容。

【討議事項】

・献血推進協議会委員推薦

今までは真鍋さんが担当していた。輸血研究班より1名推薦していただくように依頼した。

・研修会の会場について

都立墨東病院が借りられなくなったとの報告があり、これをきっかけに各研修会場について討議が行われた。研修会の開催にあたり、各研究班とも会場探しには苦労している。

近年は貸していただけなくなったり、有料化したり、1・2か月前でなければ借りられない会場が増えており、事前の予定を立てづらくなっているとの報告が各研究班から挙がった。

以下、当該施設に幹事がいると仮定し、会場を借りる場合の料金や申請期間について各班長より収集した情報を列挙する。

墨東病院(有料化?借りられるか不透明)・日本医大(無料,3か月前)・順天堂大学(無料,2か月前)・

東大(有料)・東京通信病院(無料,~70名)・青少年オリンピックセンター(有料,10か月前)・

東京医大(×)・東京医科歯科(有料)・昭和大学(無料)・杏林大学(有料)・東京女子医大(有料)・

NTT関東病院(無料)・日大板橋病院(無料)・JR東京病院(無料)

なお、公的な場所は抽選で1・2か月前でないと確定できない施設が多いとのこと。有料の(一般的な)研修会場は高額で使用するには困難とのことだった。

・学生会員の研修会への参加について

学生が学校単位で参加すると、人数が多すぎて会場に収容できなくなり、困る。資料も足りなくなってしまう。などの意見が挙がった。

○学会運営部

<第2回首都圏医学検査学会 臨時企画委員会>

1) 議題

①今後の作業スケジュール予定について

タイムスケジュール案に則り、従前作業ならびに今後の作業内容およびスケジュール確認を行った。

②特別講演、研究班企画講師について

雛型に則り5月末日までに中西宛てに提出。取りまとめ後、委嘱状、抄録作成依頼を送付。

③学会公告について

学会公告は8月に第1報のみを発行することとした。

④演題募集期間について

タイムスケジュールおよび関甲信支部の締め切りを勘案し、最終期限を6月末日まで再延長することとした。

⑤学生フォーラム・日臨技企画について

下田学会長が学生参加校、および日臨技からの依頼企画について次回委員会までに調査確認を実施する。

⑥今後の作業実施について

プランドゥ社に見積もりを再提示して頂き、委託作業内容の取り決めを行うこととした。

あわせて東広社に抄録集の編集、送付作業に関わる費用の見積もりを依頼する。

⑦学会実行委員について

実行委員の役割分担は下記の通りとした。

広報・・・大野理事 編集・・・蝶名林理事 資材・・・島田常任委員 運営・・・原田理事

会計・・・鈴木理事, 土橋理事 渉外・・・井上理事 学校・・・松村理事 学術・・・中西理事

受付・・・杉岡理事

実行委員には、上記以外の理事、学術研究班班長を加える。(任期:平成25年6月1日~11月末日)

※実務委員任期:依頼後~10月末日迄

⑧展示ブースについて

展示会場内に学会受付を設けることから 40 → 34 コマに変更する。

⑨ランチョンセミナーについて

応募が少ないので追加を募集する。希望日時、会場が重複しているので今後調整を図る。

⑩学会コンgresバックについて

専用のものは作成しない。地域保健共催事業で使用するものにあわせて発注を行う。

○庶務部

【報告事項】

- ・現在の会員数及び賛助会員数の報告（平成 25 年 5 月 31 日現在）
会員数 4,235 名
平成 25 年度賛助会員数 70 社
- ・訃報 当会名誉会員である上島友幸氏 2013 年 5 月 25 日 ご逝去されました。

○会計部

【報告事項】

平成 25 年度 5 月の予算管理月報、他 3 表を作成し報告。

- ・5 月 31 日現在の会費収入状況報告
- ・5 月のおもな事業活動収支について
支出：臨検啓発事業（都臨技会員証発行・前年度会費納入者分）、委託費
倫理高資質向（データ標準化基準施設委託費用）、委託費
- ・会計科目の変更
事業収入（倫理高揚資質向上事業収入を以下の 4 科目に細分）
研修会等受講費収入
データ標準化精度管理調査参加費収入
東京都医学検査学会参加費収入
東京都医学検査学会展示広告費収入
雑収入（雑収入を以下の科目名に変更）
懇親会参加費
管理費支出（組織運営費を以下の 2 科目に細分）
記念品費
懇親会費

○事務局

【活動報告】

<5 月、6 月の主な活動>

- 研修会の受付立会
- 選挙管理委員会の立会（鈴木業務執行理事）
- 推薦状発送（武見敬三氏（参議院選）、田之上郁子氏（都議選））
- 平成 24 年度決算総会 開催通知発送（代議員宛）

<他団体との交流（予定を含む）>

- 5 月 11 日（土）東京都理学療法士協会 公益法人設立記念式典（下田会長）
- 5 月 21 日（火）東京都病院薬剤師会 第 3 回通常総会・懇親会（下田会長）
- 6 月 8 日（土）群馬県臨床検査技師会 一般社団法人移行記念式典・祝賀会（千葉副会長）
- 6 月 27 日（木）東京都看護協会 平成 25 年通常総会開会式（下田会長）

<歯科衛生士講習会講師依頼>

- 12 月 15 日（日）に開催される平成 25 年度 DH フレッシュアップセミナーの講師として
千葉副会長の講師派遣依頼があった。

<東京都献血推進協議会血液製剤適正使用部会委員の推薦>

前任者には真鍋義弘前理事を推薦していた（任期平成23年7月1日～平成25年6月30日）。
任期満了に伴い、野口浩明会員（輸血研究班班長）を推薦した。

<上島友幸名誉会員（元多摩南部地域病院検査科技師長）の訃報>

5月25日ご逝去された。慶弔規程に基づき、会長名で弔電の対応をした。

（3）各委員会報告

○編集委員会

【報告事項】

<平成25年8月号入稿>

- ・特集：生理，原稿未入稿
- ・シリーズ：「他職種から検査技師に知っていて欲しい知識」理学療法士の立場から
東京女子医科大学病院 リハビリテーション部 増山素道，堀部達也
5月末入稿予定
- ・施設紹介：医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院
5月末入稿予定
- ・役員選出委員会より公示を掲載予定。
高城部長から萩原委員長に原稿を依頼する。
- ・選挙管理委員会よりお知らせ文を掲載予定。
原稿は理事会承認の後，入稿する。
- ・本日，欠席者が多かったために，各研究班の入稿予定原稿を大竹編集長が取りまとめて連絡する。

<5月号の発送について>

- ・5月号の発送が総会議案書掲載のために遅れ，5月24日発送となった

<論文投稿規定について>

- ・論文投稿規定が古くて，時代に合わないため改定して5月号に掲載し，投稿表紙を追加した。

<投稿論文について>

- ・微生物関係の投稿論文を査読していただき，一部修正を条件に掲載を決定した。

<都臨技学会優秀演題について>

- ・都臨技学会優秀演題の論文掲載は8月号に投稿論文がある為，11月号に2演題掲載する。

<会誌シリーズについて>

- ・11月号：薬剤師の立場から（治験について）を予定。
- ・2月号：栄養士の立場からを予定。

【検討事項】

- ・次年度のシリーズを検討する必要があるので，各自考える。
今年度のテーマを次年度も続けてもいいのではないかとの意見が出された。

○生涯教育制度実行委員会

【報告事項】

- ・生涯教育対象行事（5月）
都臨技研修会 10件 登録者数 620名
- ・申告 会場研修 4件 登録者数 21名

○選挙管理委員会

【報告事項】

<平成26年度代議員選出タイムテーブルの作成・検討>

- ・代議員候補者公募の時期について，理事会役員の公募のタイミングに合わせて会誌への掲載を依頼する。
そのため，公募の期間を9月～11月に定めた。
代議員候補の確定の時期を11月，公表の時期を12月とし，2月上旬（2/1～2/15）に選挙を行う。

- ・選挙結果の開示については3月上旬とし、結果を総会前の会誌に掲載を依頼する。
- ・平成26年度選挙管理委員の選出については、定款を確認し、現選挙管理委員会の管轄外であると判断した。そのため現選挙管理委員の意向としては、平成26年度選挙管理委員の選出は理事会に一任することとし、その旨、理事会に打診することとした。

<平成26年度各支部の代議員選出数について>

- ・次期代議員選出数をどのように決めるのか、(正会員数を把握する時期、代議員の補欠を含めた候補者数等)理事会へ打診する。選挙管理委員会としては、総会開催時の正会員数から代議員選出数を決定するよう意見統一した。

<代議員の選任に係る規定について>

- ・選挙管理委員会における活動をはじめ、平成26年度代議員選挙に関わる審議は、大元の柱となる理事会の定める”代議員の選任に関わる規程”により執り行なわれなくてはならない。しかし、現行の規程はあくまで最初の代議員の選任に係る規程である。そのため、理事会からは規程を新たに作成していただく必要がある。特に第3条の文言については早急に改定を求めることとした。また、代議員の会務について細則にて明記するよう理事会に依頼することとした。

<代議員立候補届の修正について>

- ・現代議員立候補届について、”公益”という言葉を追加する。また、会員歴、活動歴の欄からは、社団法人を削除する。立候補資格の文言については、どの時期を以って正会員とし、立候補資格とするのか理事会に打診することとした。

<その他>

- ・選挙管理委員会として都臨技総会前に代議員召集の話が都臨技一部の部会よりオフィシャルな意見ではないが話題として上がったとのことを受け、委員会内で協議し選挙管理委員会が関知する領域ではないとのことで意見統一された。

○役員選考委員会

【報告事項】

<5月理事会報告>

- ・会員の移動に伴う手続きについて
他県からの転入・転出等手続きについて今年度は今までと同様とし、今後は他県と協議し理事会・総会にて承認を得ることとする。

【検討事項】

1) 公示・推薦状(案)の確認

- ・支部の担当割りについて
公示文書に掲載する各役員選出委員の担当支部は削除する。公示文書・推薦状は7月上旬にホームページに、会誌は8月号に掲載予定。
- ・情報収集の記載内容について
 - a. 推薦状は幹事用と一般会員用に分かれていたが、平成26・27年度より統一の様式を用いる。
 - b. 推薦理由について
幹事経験の有無は研究班幹事と地区幹事とに分ける。
生涯教育履修経験の有無は生涯教育履修修了の有無とし、期間は削除する。
 - c. 推薦者の理事・幹事・役員の記載は削除する。

2) 今後スケジュール

公示文書・推薦状は早急に改訂し6月理事会での承認を得たい。

○表彰選考委員会

【報告事項】

1) 平成25年度秋の叙勲・褒章推薦の進捗状況確認

推薦候補者は 岩田 進 氏(元日臨技会長、都臨技名誉会員)とし、候補者基準の該当について確認

2) 今年度の小島三郎記念技術賞, 福見秀雄賞について

小島三郎記念技術賞は, 前年度候補に挙げた東京女子医大の横山氏を推薦候補として検討することとした。

3) 過去の各賞受賞者の名簿の整理について

小島三郎記念技術賞, 福見秀雄賞等について受賞者の名簿作成の進捗状況確認

4) 表彰選考委員会で推薦している各賞のホームページ等での公開の進捗状況確認

5) 平成24年度永年会員表彰について

70歳以上の下記5名の会員について理事会に報告。なお, 都臨技会費規程により70歳以上の永年会員については会費免除となることを確認し理事会に報告することとした。

会員 No130109 小栗 豊子 氏

会員 No130190 亀井 喜恵子 氏

会員 No130288 東海林 治三郎 氏

会員 No130499 本間 資重 氏

会員 No132014 當眞 嗣昇 氏

※ 都臨技表彰規程で永年会員は継続して20年以上または通算して30年以上の会員で, 表彰時年齢が満60歳以上の者となっている。表彰通知を送付する際, 70歳未満の対象者については但し書きとして, 70歳未満であるため規程により会費の免除対象外であることを明記することとした。

【検討および確認事項】

1) 平成25年度各賞について検討

・平成25年度秋の叙勲・褒章推薦候補者は 岩田 進 氏(元日臨技会長, 都臨技名誉会員)候補をI類の基準で推薦を予定

・今年度の小島三郎記念技術賞, 福見秀雄賞について

小島三郎記念技術賞は, 前年度候補に挙げた東京女子医科大学病院の横山貴氏を推薦候補とし, 年内に書類を揃えるよう要請する。また, 福見秀雄賞については杏林大学の司茂 幸英氏, 文京学院大学の下村 弘治氏を候補者として検討する。

2) 過去の各賞受賞者の名簿の整理

・事務局において, 小島三郎記念技術賞, 福見秀雄賞等について受賞者の名簿作成を進めている段階である。

3) 表彰選考委員会で推薦している各賞のホームページ等での公開内容について検討

・現在ホームページに掲載されている各賞の内容についてリニューアルを行う。

4) 平成24年度永年会員表彰について

・満60歳以上の対象者について再度確認することとする。

○STI委員会

【検討事項】

・都立練馬工業高等学校 STI 予防教室開催中止と延期について

5/28 当日高校側からの開催中止の連絡があり急遽中止した。担当の先生から7/11に変更可能か連絡あり。

・都立杉並工業高等学校予防教室開催について

上記, 練馬工業の先生より紹介があり, 杉並工業でも開催の依頼があり候補日の中から7/5(金)とした。

・今後の STI 予防教室予定

7月5日 都立杉並工業高等学校 講師: 中山, 上前泊 サポート: 森, 佐藤信

7月10日 都立芝商業高等学校 講師: 板橋, 佐藤(美) サポート: 森, 佐藤信

7月11日 都立練馬工業高等学校 講師: 尾形, 森 サポート: 水野

7月12日 日大豊山女子高校 講師: 石井, 大久保 サポート: 上前泊

・講師トレーニング日程

6月24日(月) 19時~ 都臨技事務所 板橋, 佐藤(美)

<その他の STI 予防啓発活動>

・池袋エイズフェス(11月23日祝日開催) 既に参加団体は決定しており, 都臨技のブースは出せない。

・都臨技コンドームの配布だけでも可能か問い合わせる。

<第2回首都圏支部医学検査学会への参加>

- ・STI委員会から一般演題で発表する。筆頭演者は板橋委員とする。
- ・内容はSTI予防啓発活動報告とした。公開講演、STI予防教室など。

【検討事項】

- ①今年度にSTI予防啓発リーフレット作り直しについて
 - ・以前作成した版（デザイン）があれば名称変更，内容変更だけでも良い。
 - ・内容や紙面サイズは検討中，内容には最新のデータ，感染経路の多様化など盛り込む。
 - ・水野委員，上前泊委員が担当して作成へ
- ②STI予防啓発事業の地域共催について
 - ・当会のSTI予防啓発事業を各区保健所とより連携を取り，各区で行われる予防啓発イベント等に参画できるよう関係を強化していく。
 - ・今後は都内各所で行われているSTIやがん予防啓発事業にも積極的に参加できるよう検討する。

○データ標準化・精度管理調査・検査室認証委員会

- 1) 平成24年度都臨技精度管理調査最終報告書について
解析担当委員による報告書提出。現在，委員会メンバーによる内容確認中。
参加施設へ配布については，昨年同様CDにて実施する。（見積もり；昨年度と同額）
- 2) 平成25年度日臨技基幹施設について
東京都基幹施設として以下の9施設を日臨技に提出
 - ・日本大学医学部附属板橋病院 ・慶応大学病院 ・日本赤十字社医療センター
 - ・昭和大学病院 ・東京大学医学部附属病院 ・杏林大学医学部附属病院
 - ・東京都保健医療公社 豊島病院 ・三菱化学メディエンス ・SRL MUQSラボラトリー
- 3) 平成25年度都臨技精度管理調査について
下記のスケジュールで実施することとした。
 - ・申込み締切 平成25年8月31日（金）23時59分
 - ・試料調整，送付 平成25年10月22日（火）午後
 - ・試料配布（着） 平成25年10月23日（水）午前
 - ・報告締切 平成25年11月15日（金）23時59分
- 4) 日臨技精度保証認証施設について
都臨技データ標準化委員会より意見書を提出した。（4月28日）
上記に対し，日臨技・検査精度保証認証委員会委員長より回答があった。（別紙参照）
<都臨技データ標準化委員会としての今後の対応>
 - ①委員会委員長からの回答が不十分なため（都臨技委員との現状認識乖離），アンケート調査を要望する。（現状制度の問題点，取得しない理由の調査）
 - ②日臨技より配布された精度保証1000施設の取得目標については，会員への情報発信として対応する。
なお，本件に関して理事会でも審議し，承認された。
- 5) その他
 - ①凝固検査項目（PT・Dダイマー）を参考調査として実施する。
 - ②日臨技より各都道府県技師会サーベイの現状実施調査依頼あり。委員で分担して対応する。

3. 審議事項

- 学会運営部より，下記の規程および細則が提示され審議の結果，承認された。
学会運営部規程，東京都医学検査学会規程・細則
- 庶務部
 - 1. 新入会93名が提示され審議の結果，承認された。
 - 2. 総会規程が提示され審議の結果，承認された。

○事務局より

1. 入会手続き（異動を含める）について

様々な経緯での入会申請があるため、他県との整合性を図り以下のように承認された。

<都臨技入会金なし（日臨技会員）>

- ・本人の転職による異動
- ・転勤による異動
- ・元々都臨技会員だった方の異動

<都臨技入会金あり>

- ・新規加入（都臨技のみ、他県技師会との重複）
- ・平成24年度まで準会員だった方（都臨技会誌購入希望者）

4. 共催許可願い書について

○病理細胞診検査研究班より共催許可願い書が提出されたが、共催会社が賛助会員でなかったため次回へ継続することとなった。賛助会員申請の有無を確認することとする。

講演名：病理細胞診検査研修会

「細胞の発するメッセージとそのディテクションー私の細胞免疫学的アプローチ」

期 日：平成25年9月18日（水）18:45～20:15

会 場：日本医科大学 教育棟2階講義室1

講 師：傳田 珠美 医師（東大和病院 病理細胞診断科）

5. 後援名義使用許可願い書について

○日本動脈硬化学会から後援名義使用許可願い書および告知のホームページ掲載依頼が提出され、審議されたのち承認された。

講演名：脂質異常症治療ガイド2013年版普及啓発セミナー

期 日：平成25年8月1日（木）

会 場：日本医師会館 小講堂

平成25年6月19日（水）
公益社団法人東京都臨床検査技師会

議 長 印
(下田)

監 事 印
(東海林)

監 事 印
(立花)

監 事 印
(遠藤)